

主題や題材の内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（例）

【学 年】 小学校 4 学年 〈東京書籍 版〉

【主題名】 「笑顔であいさつができ、約束やきまりが守れるあかるい心

～学校教育目標『あかるく なかよく たくましく』の『あかるく』より～ （4時間扱い）

使用教材：『『ありがとう』の言葉』『日曜日のバーベキュー』『しょうぼうだんのおじさん』『雨のバスていりゅう所で』

【養う道徳性 ※関連する内容項目等】

- ・約束やきまりの意義を理解し、生活を支えてくれている様々な人への尊敬と感謝の念を抱き、誰に対しても真心をもって『あかるく』接しようとする道徳的態度を育む。
- ・ B 感謝 B 礼儀 C 規則の尊重

【主な学習活動と留意点】

児童の実態 ※肯定的な面やそれを更に伸ばしていこうとする観点からの積極的な捉え方

あいさつをしたりきまりを守ったりする姿が見られる。また近頃、自分から進んで行動する姿も見られるようになってきた。

働かせる見方・考え方：様々な事象を、道徳的諸価値の理解を基に自己との関わりで多面的・多角的に捉え、自己の生き方について考えること

	学習活動	配慮点（各教科等、体験活動等との関連）
問題意識を共有する	<p>1 教材名『『ありがとう』の言葉』 B 礼儀（8月） ねらいに深く関わる中心的な発問</p> <p>教材提示の工夫 板書を生かす工夫</p> <p>おばあちゃんの話の聴いた時、ひろしはどんな気持ちだったでしょう？</p> <p>主題「あいさつやきまりは大切だと思うけど、どうして大切なの？」設定</p>	<p>おばあちゃんの話『有り難し』や板書を模造紙に書いて授業後も教室に掲示することで、設定した主題に立ち返ることができるようにする。</p> <p>学級活動（2） ア 基本的な生活習慣の形成</p>
	<p>2 教材名「日曜日のバーベキュー」 C 規則の尊重（9月） 多面的・多角的に考える発問（人間理解）</p> <p>教材提示の工夫 役割演技の工夫</p> <p>ごみすて場じゃないところにごみをすててしまった気持ちはどんな気持ちだろう？</p>	<p>役割演技を通してきまりをやぶってしまう人間の弱さが自分にもあることを共有し、その時の気持ちをしっかり話合う。</p> <p>社会科 人々の健康や生活環境を支える事業について</p>
自分自身との関わりで・多面的・多角的に考える	<p>3 教材名「しょうぼうだんのおじさん」 B 感謝（9月） 自分の生き方についての考えを深める発問</p> <p>説話の工夫 話合いの工夫</p> <p>パン屋のおじいさんのように、あなたの生活を支えてくれる人はいますか？どんな言葉をかけたいですか。</p>	<p>自分の生き方を振り返る場面では、支えてもらっている地域の方の写真を提示し、グループで考え合うきっかけをつくる。</p> <p>自然災害から人々を守る活動について</p>
生き方を考え深める	<p>4 教材名「雨のバスていりゅう所で」 C 規則の尊重（9月） ねらいに深く関わる中心的な発問</p> <p>問題解決的な学習 話合いの工夫</p> <p>きまりは大切だと思うけど、どうして大切なのだろう？</p> <p>主題「あいさつやきまりは大切だと思うけど、どうして大切なの？」を自己評価</p>	<p>「よし子」がお母さんの横顔を見ながら自分のしたことを振り返りきまりの意義を考えていく場面を捉え、これまで追求したことを生かしてグループで話し合うようにする。</p> <p>学校行事（4）遠足・集団宿泊的行事 集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むこと</p>

次学年へのつながり（児童に願う姿）

あいさつやきまりの意義を理解し、感謝の念をもって、より『あかるく』生活しようとする態度を養う。